

みずほCustomer Desk Report 2019/11/28号(As of 2019/11/27)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.15
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.10	1.1022	120.24	1.2854	0.6787
SYD-NY High	109.61	1.1025	120.59	1.2926	0.6791
SYD-NY Low	109.05	1.0993	120.07	1.2827	0.6772
NY 5:00 PM	109.57	1.1000	120.47	1.2926	0.6774
NY DOW	28,164.00	42.32	日本2年債	-0.200	▲1.00bp
NASDAQ	8,705.18	57.24	日本10年債	-0.110	▲1.00bp
S&P	3,153.63	13.11	米国2年債	1.6239	3.60bp
日経平均	23,437.77	64.45	米国5年債	1.6267	3.16bp
TOPIX	1,710.98	5.27	米国10年債	1.7663	2.57bp
シカゴ日経先物	23,590.00	150.00	独10年債	-0.3735	0.05bp
ロンドンFT	7,429.78	26.64	英10年債	0.6750	2.50bp
DAX	13,287.07	50.65	豪10年債	1.0480	▲3.50bp
ハンセン指数	26,954.00	40.08	USDJPY 1M Vol	4.50	▲0.13%
上海総合	2,903.19	▲3.87	USDJPY 3M Vol	5.13	▲0.13%
NY金	1,453.40	▲6.90	USDJPY 6M Vol	5.73	▲0.13%
WTI	58.11	▲0.30	USDJPY 1M 25RR	-0.85	Yen Call Over
CRB指数	180.35	▲0.75	EURJPY 3M Vol	5.63	▲0.23%
ドルインデックス	98.33	0.08	EURJPY 6M Vol	6.15	▲0.21%

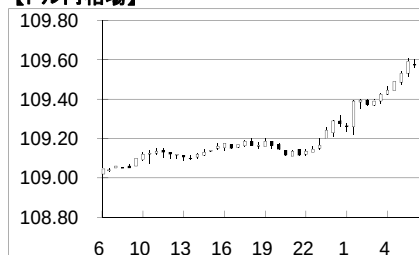
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月27日	22:30	米 GDP(年率/前期比)	3Q S 2.1%	1.9%
	22:30	米 個人消費	3Q S 2.9%	2.8%
	22:30	米 コアPCE(前期比)	3Q S 2.1%	2.2%
	22:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	10月 0.6%	-0.9%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	23-Nov 213k	221k
11月28日	00:00	米 個人所得	10月 0.0%	0.3%
	00:00	米 個人支出	10月 0.3%	0.3%
	00:00	米 PCEデフレ(前月比)	10月 0.2%	0.3%
	00:00	米 PCEデフレ(前年比)	10月 1.3%	1.4%
	00:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	10月 -1.7%	0.2%
	04:00	米 ページブック	-	-

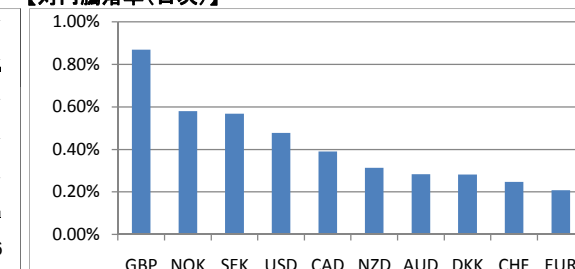
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月28日	19:00	欧 鉱工業信頼感指数	11月 -9.1	-9.5
	19:00	欧 サービス信頼感指数	11月 8.8	9
	19:00	欧 消費者信頼感・確報	11月 -	-7.2
11月29日	01:35	欧 クーレ ECB専務理事 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 来年に向けて、先行き不透明感はまだ強い

足元のドル円相場は5月末以来、約半年ぶりの水準まで上昇。12月15日の米国の対中関税発効期限を控え、期待感の高まりがドル円の上昇材料となり、節目の110円突破も意識される。楽観的な見方が強まる一方で、米中協議に関しては、部分合意になることはあっても、覇権争いを巡り、両国の対立は今後も続くとの見方が多い。中国が求める関税の撤廃までは相当ハードルが高く、貿易戦争が世界経済の不透明要因として、設備投資の手控えなど悪影響を及ぼす状況は、来年も続くと思われる。景気は底を打って回復に転じるとの予測も聞かれるものの、IMFの試算では米中貿易戦争が続いた場合、2020年の世界のGDPは0.8%押し下されると指摘。IMFは世界の経済成長率見通しを5四半期連続で下方修正しており、またOECDが先週発表した予測でも、20年の成長率予想を2.9%に下方修正。世界経済の好転の境目とされる3%を割り込む可能性も現実味を帯びてきている。今月発表された米中の経済指標を見ると、中国は総じて弱いものが多く、米国はまちまちの状況。米国はGDPの7割を占める個人消費が今後を占う上でやはり鍵となり、感謝祭明けの年末商戦が注目される。今月発表された米小売売上高の詳細を見ると、主要13項目のうち家具や衣料品、電気製品など7項目が減少。消費減速の兆候も一部で見られている。個人消費を支える株価は高値圏にあり、S&P500指数は昨年12月の安値より3割以上も上昇。PERも上昇し続けており、業績がついて来なければ、金融緩和によるバブルがいつか弾けるリスクにも注意したいところ。米中関連では、香港法案署名、ファーウェイ規制、ウイグル問題と日替わりで新たな材料が出てきている。来年に向けて不透明要因は多く、米景気が減速傾向を強めれば、米金利も上昇しにくく、ドル円は円高ドル安に振れやすい展開になると予想。(山岸)

東京	東京時間のドル円は109.10レベルでオープン。連日続いた米中関連のポジティブなヘッドラインも落ち着きを見せる中、株式市場は総じて小確りとした推移。ドル円については、109円台前半での小動きに留まり、109.17レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.17レベルでオープン。欧州時間もリスク資産は堅調に推移するも上値を迫るには材料不足で109.11-109.20の狭いレンジ内で推移した後、109.15レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.2847レベルでオープン。世論の情勢はここ数日で大きく変わった訳ではないものの、前日の反動からポンド買いが優勢となり、1.2894まで買われた後1.2887レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	109.15レベルでNYオープン。朝方は、米第3四半期GDP2次速報(前期比)において、構成指数の個人消費が予想を上回り、設備投資などが上方改定された。加えて10月耐久財受注もプラス成長となり、ドル買い地合となったことで109.32まで上昇する。10時に発表された10月米個人支出が予想と一致する一方、個人所得が予想0.3%増に対し横ばいとなり、同時に発表の10月中古住宅販売仮契約も予想を下回り、109.22まで下押しする。しかし英総選挙で、与党である保守党が勝利するとの予想が公表されたことを受け、ポンド円が上昇する動きにドル円は109.30を抜け、109.40まで上昇する。午後米円売りが継続したことから109.50を抜け、一時109.61まで上伸し、109.57レベルでクロスした。ユーロドルは1.1010レベルでNYオープン。朝方は米GDP、個人消費、耐久財受注などの結果を受けたドル買いに1.0993まで下落する。しかしこのレベルでは買い意欲は強く、英総選挙に対する期待からユーロ円が上昇する動きにユーロドルは下値をサポートされ、1.1005まで戻す。午後は1.1000付近での推移が続き、1.1000レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山岸・逸見 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア

ブル	ベア
11	9